

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	都市防災システム小委員会	主 査 名：中林一樹		
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：佐藤 滋		
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月			
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>都市防災システムの向上を目指して研究事業を進めているが、阪神・淡路大震災以降、大都市防災の視点・手法に偏る傾向がある。そこで、「地域性」を考慮した災害対策のあり方を考究し、「地域性を考慮した震災対策策定手法」の確立を目指す。同時に、大学教育における都市防災教材を確立するために、「都市防災システム図集」を刊行するために、WGを設置した。</p> <p>2003年度活動計画：小委員会では、2回の公開研究会を「震災対策における『地域性』」をテーマに、東日本及び西日本を取り上げて、開催する。また、図集刊行WGでは、次年度刊行に向けて、執筆・編集作業を終える。</p> <p>2004年度活動計画：阪神・淡路大震災以降の鳥取、芸予、宮城県北、十勝沖と非大都市地域での被害地震が多発し、また、東海・東南海・南海地震も危惧されている。これらの被害実態や状況を踏まえて「地域性を考慮した震災対策の策定手法」に関する提言をまとめる。その提言に関して、公開研究会を開催する。</p> <p>また、WGでは、内部査読及び外部査読を経て、図集を刊行する。この刊行に向けて、小委員会として、大会（北海道）ではPD「都市防災の教育と視覚化」を開催する。</p>			
委員構成 (委員名(所属)) : 委員 W: ワーキングメンバー	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> W 水越 薫 (イー・アール・エス) 長能正武 (リスクマネジメント) 中林一樹 (東京都立大学) 宮野道雄 (大阪市立大学) W 翠川三郎 (東京工業大学) W 岩井 哲 (広島工業大学) W 大西一嘉 (神戸大学) 位寄和久 (熊本大学) W 熊谷良雄 (筑波大学) 岡田成幸 (北海道大学) 糸井川栄一 (筑波大学) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 池田浩敬 (富士常葉大学) 伊村則子 (日本女子大学) 村田明子 (清水建設) W 加藤孝明 (東京大学) W 吉川 仁 (防災&都市づくり計画室) 奥田 暁 (大林組) 中浜慎司 (大成建設) W 村尾 修 (筑波大学) 川井政知 (防災都市研究所) W 能島暢呂 (岐阜大学) </td> </tr> </table>		W 水越 薫 (イー・アール・エス) 長能正武 (リスクマネジメント) 中林一樹 (東京都立大学) 宮野道雄 (大阪市立大学) W 翠川三郎 (東京工業大学) W 岩井 哲 (広島工業大学) W 大西一嘉 (神戸大学) 位寄和久 (熊本大学) W 熊谷良雄 (筑波大学) 岡田成幸 (北海道大学) 糸井川栄一 (筑波大学)	池田浩敬 (富士常葉大学) 伊村則子 (日本女子大学) 村田明子 (清水建設) W 加藤孝明 (東京大学) W 吉川 仁 (防災&都市づくり計画室) 奥田 暁 (大林組) 中浜慎司 (大成建設) W 村尾 修 (筑波大学) 川井政知 (防災都市研究所) W 能島暢呂 (岐阜大学)
W 水越 薫 (イー・アール・エス) 長能正武 (リスクマネジメント) 中林一樹 (東京都立大学) 宮野道雄 (大阪市立大学) W 翠川三郎 (東京工業大学) W 岩井 哲 (広島工業大学) W 大西一嘉 (神戸大学) 位寄和久 (熊本大学) W 熊谷良雄 (筑波大学) 岡田成幸 (北海道大学) 糸井川栄一 (筑波大学)	池田浩敬 (富士常葉大学) 伊村則子 (日本女子大学) 村田明子 (清水建設) W 加藤孝明 (東京大学) W 吉川 仁 (防災&都市づくり計画室) 奥田 暁 (大林組) 中浜慎司 (大成建設) W 村尾 修 (筑波大学) 川井政知 (防災都市研究所) W 能島暢呂 (岐阜大学)			
設置 WG (WG 名: 目的)	<p>都市防災システム図集刊行WG (主査: 熊谷良雄)</p> <p>目的: 地方における地震災害が危惧される今日、全国の大学教育における防災教育が重要な意味を持ってきている。しかしながら、都市防災を専門とする教員が全国の大学に配置されているわけではない。そこで、建築構造や計画分野でも都市防災の教育に活用できるように、「都市防災システム図集」を観光することを目的としている。</p>			
2003 年度予算	320,000 円			

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003年5月19日(小委員会・WG:12名) 2003年7月8日(小委員会・WG:13名) 2003年11月10日(小委員会・公開研究会「地震防災対策における『地域性』 東北・北海道地域で考える:宮城県北地震・十勝沖地震」40名:建築 学会会議室) 2003年12月8日(小委員会・WG:8名) 2004年1月19日(小委員会・WG:9名) 2004年2月21-22日(小委員会・公開研究会「地震防災対策における『地域性』 西南日本地域で考える:南海地震・津波対策等」60名:高知県正庁ホ ール/現地見学会「浦戸地区・種崎地区の津波対策」11名) 2004年3月22日(小委員会・WG:8名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) <ul style="list-style-type: none"> ・ 2回の公開研究会を通して、地域性を考慮した震災対策策定手法に関する討議を進めることができた。とくに、高知県との共催でおこなった公開研究会では、我が国の漁村地域における震災対策としての津波問題をめぐって、大きな成果が得られた。(高知新聞でも報道された。) ・ WGでは、執筆作業を進めてきた。とくに教材としての活用のために、パワーポイントによる教材資料の収集と執筆に手間取っているが、鋭意、執筆活動を進めている。(新年度早々に内部査読に入る予定である。) ・ 小委員会では、HPを開設したが、十分に活用できていない。 委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小委員会としては、当初計画通りに活動し、成果が得られた。 ・ WGでは、当初計画よりも進捗がやや遅れている。
その他評価すべき事項	特になし